

(9) 財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

一 法人の概要

- | | |
|-----------|---|
| 1 名 称 | 財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社 |
| 2 目 的 | 鳥取県が設置する天神川流域下水道の運転管理業務等を受託するとともに、天神川流域下水道関係地方公共団体が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。 |
| 3 設立許可年月日 | 昭和57年8月1日 |
| 4 設立登記年月日 | 昭和57年8月7日 |
| 5 基 本 財 産 | 出えん金 3,000,000円
鳥取県出えん金 1,500,000円
倉吉市出えん金 500,000円
三朝町出えん金 250,000円
北栄町出えん金 250,000円
湯梨浜町出えん金 500,000円 |
| 6 役 員 | 理 事 7人 監 事 2人
理 事 長 広 瀬 健 志
副理事長 長谷川 稔(倉吉市長)
常務理事 広 瀬 健 志(理事長兼務)
理 事 吉 田 秀 光(三朝町長)
" 松 本 昭 夫(北栄町長)
" 宮 脇 正 道(湯梨浜町長)
" 尾 崎 節 子(湯梨浜町社会教育委員)
" 大 場 尚 志(鳥取県生活環境部次長)
監 事 馬 壁 聰之介
" 浦 林 梅 樹 |
| 7 職 員 | 9人 |
| 8 事 務 所 | 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地 |

二 平成18年度事業実施状況

1 天神川流域下水道運転管理受託事業

(1) 県との委託契約に基づく天神川流域下水道の維持管理

- ① 天神浄化センター、各処理分区の流量計測設備（23カ所）、若土ポンプ場設備、幹線管渠及び放流管渠の維持管理業務を実施した。
- ② 流域接続地方公共団体1市3町から流入した汚水及び発生した汚泥を、次のとおり処理した。

汚 水 処 理 量		汚 泥 処 理 量	
日 平 均	19,839m ³	脱水汚泥（年間合計）	4,015.6t
年 間 合 計	7,241,065m ³	焼却灰（年間合計）	137.7t

③ 水処理の状況は次のとおりである。

項 目	流 入 下 水	放 流 水
BOD (mg/l)	120	7.9
浮遊物質 (SS) (mg/l)	110	2.0

※BOD=生物化学的酸素要求量

(2) 水質及び汚泥成分等の分析

平成18年度水質試験計画により、公社が直営で次のとおり実施した。

水質試験（日常試験、中試験、精密試験、通日試験、管渠接続箇所試験、放流海域試験）、汚泥試験、悪臭物質試験、騒音試験

(3) 県から受託した天神川流域下水道維持管理業務のうち、管理棟・汚泥処理棟の建築付帯設備、電気設備等の保守点検を民間専門業者に再委託した。

2 下水道技術者の養成

職員の下水道に関する知識の習得、技術向上を図るため、社団法人日本下水道協会、日本下水道事業団等の研修会、講習会に参加した。

3 下水道技術の調査研究

下水道の技術の情報を収集するために下水道研究発表会（社団法人日本下水道協会主催）、中国地区公衆衛生学会に出席した。

4 下水道普及啓発事業

(1) 上水から下水までの水の状況を学習してもらうため、8月19日に「水の旅見学会」を実施した。

見学コース：東郷ダム→浄水場（倉吉市）→天神浄化センター

参加者：親子22組53名

(2) 1市5町の小学4年生の児童から、習字、ポスター、標語を募集して下水道コンクー

ルを実施した。

- (3) 施設見学者に対して、施設の説明、案内を実施した。

見学者数：258人(6団体)

- (4) 小学校に職員が出向いて、下水道のしくみ、微生物の説明、水質検査の体験の「下水道ふれあい教室」を実施した。(1市1町の2校)

財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収 支 計 算 書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	
収 入		円	円	円		
		基本財産運用収入	38,000	38,375	375	
		1 基本財産利息収入	38,000	38,375	375	
		事業収入	416,183,000	368,777,453	47,405,547	
		1 天神川流域下水道維持管 理受託収入	416,183,000	368,777,453	47,405,547	
		(1) 県受託事業収入	416,183,000	368,777,453	47,405,547	
		雑収入	2,000	5,162	3,162	
		1 受取利息収入	1,000	5,162	4,162	
		2 雑収入	1,000	0	1,000	
		当期収入合計(A)	416,223,000	368,820,990	47,402,010	
		前期繰越収支差額	0	0	0	
		収入合計(B)	416,223,000	368,820,990	47,402,010	

科 目		予算額	決算額	差 異	備 考
		円	円	円	
支 出	天神川流域下水道維持管理 受託事業費支出	416,222,000	368,820,990	47,401,010	
	1 管理運営費	85,249,000	83,263,057	1,985,943	
	(1) 職員給与費	71,749,000	73,507,588	1,018,412	維持管理業務費 より
		2,777,000			2,777,000円
	(2) その他経費	10,723,000	9,755,469	967,531	
	2 維持管理業務費	333,134,000	284,867,649	45,403,351	職員給与費へ 2,777,000円 普及啓発費へ 86,000円
		2,863,000			
	3 普及啓発費	566,000	650,284	1,716	維持管理業務費 より
		86,000			86,000円
	4 調査研究費	50,000	40,000	10,000	
事業費支出	1,000	0	1,000		
1 退職給与金支出	1,000	0	1,000		
当期支出合計(C)	416,223,000	368,820,990	47,402,010		
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		

財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 及 び 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
流動資産	20,843,458	負債	20,843,458
1 現金預金	20,843,458	1 流動負債	20,843,458
(1) 普通預金	20,843,000	(1) 預り金	629,782
(2) 仮払金	458	(2) 未払金	20,213,676
固定資産	3,074,984	正味財産	3,074,984
1 基本財産	3,000,000	(うち基本金)	(3,000,000)
(1) 基本財産定期預金	42,271	(当期正味財産増加額)	(0)
(2) 基本財産投資有価証券	2,957,729		
2 その他の固定資産	74,984		
(1) 電話加入権	74,984		
合 計	23,918,442	合 計	23,918,442

三 平成19年度事業計画

- 1 天神川流域下水道の運転管理業務を県から受託して行う。
- 2 下水道の流入水、放流水、汚泥、焼却灰等の分析を県から受託して行う。
- 3 下水道技術者の養成を行う。
- 4 下水道技術の調査研究及び情報収集を行う。
- 5 下水道知識の普及啓発を行う。
 - (1) 天神浄化センター見学者に対する啓発
 - (2) ホームページによる下水道の普及促進
 - (3) 水の旅見学会の開催
 - (4) 下水道コンクールの実施
 - (5) 下水道ふれあい教室の実施
- 6 その他会社の目的を達成するために必要な事業を行う。

財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
収 支 予 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

科 目		予算額	前年度予算額	増 減	備 考
		千円	千円	千円	
収 入	基本財産運用収入	38	38	0	
	1 基本財産利息収入	38	38	0	
	事業収入	456,308	416,183	40,125	
	1 天神川流域下水道維持管理 受託収入	456,308	416,183	40,125	
	(1) 県受託事業収入	456,308	416,183	40,125	
	雑収入	7	2	5	
	1 受取利息収入	6	1	5	
	2 雑収入	1	1	0	
	当期収入合計(A)	456,353	416,223	40,130	
	前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計(B)	456,353	416,223	40,130		
支 出	天神川流域下水道維持管理 受託事業費支出	456,352	416,222	40,130	
	1 管理運営費	83,669	82,472	1,197	
	(1) 役員報酬費	5,552	0	5,552	
	(2) 職員給与費	65,684	71,749	6,065	
	(3) その他経費	12,433	10,723	1,710	
	2 維持管理業務費	372,029	333,134	38,895	
	3 普及啓発費	604	566	38	
	4 調査研究費	50	50	0	
	事業費支出	1	1	0	
	1 退職給与金支出	1	1	0	
当期支出合計(C)	456,353	416,223	40,130		
当期収支差額(A) - (C)	0	0	0		
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	0		